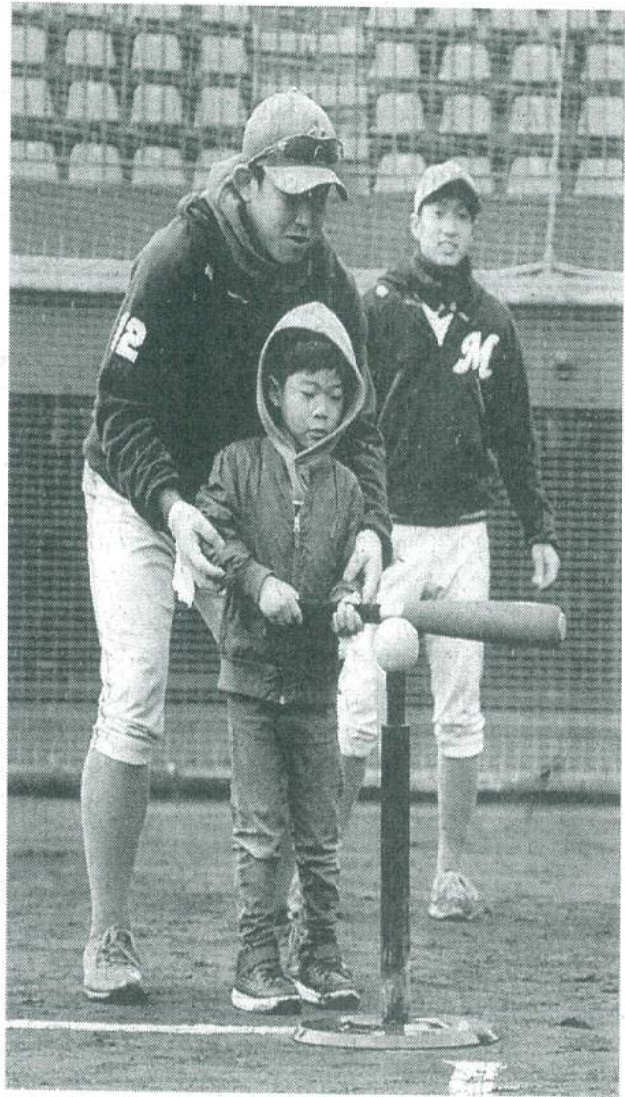


親子でティーボール

箕島球友会 有田で開催



バットの持ち方や振り方を指導する水田信一郎捕手（左）＝有田市宮崎町のマツゲン有田球場で

今夏の全日本クラブ野球選手権大会で4回目の優勝を果たした和歌山箕島球友会が11月26日、有田市宮崎町のマツゲン有田球場で「第20回親子でティーボールを楽しもう会」を開催した。参加した小学生ら約200

人は元気にバットを振り、ボール追いかけた。

ティーボールは打撃ティーに置いたボールを打ってプレーが始まる競技で、ルールは投手がいけない点以外ほぼ野球に準じている。箕島球友会の地域貢献・

野球普及活動の一環として始まった。

2回目の参加という有田川町立石垣小2年の井上陽路（あきら）さんは「選手たちに教えてもらえて楽しかった。前回より守備がうまくなったと思う」と満足げ。球友会の岸翔太選手

（25）は「これをきっかけに野球を好きになってくれたら」と話し、西川忠宏監督（56）は「20年前に小学生だった子が自分の子供を連れて来てくれてうれしい。今後も続けていきたい」と語った。

【木原真希】

